

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	医療連携係
■評価事業名称	北上済生会病院救急医療等事業補助金			
■事業開始年度	平成22年度			
■評価事業コード	040200 - 107	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	01 地域医療の充実		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	地域医療を充実し、市民の安全な暮らしを守る。特別交付税の交付規定で公的病院にも、救急医療・周産期医療・小児医療等の機能が交付税措置の対象となったこと。救急医療の医療機能については、岩手中部地域病院群輪番制運営補助金を差引いた分を補助。周産期医療については、県から補助されるので補助しない。小児医療については、基準額とおりの補助とする。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	北上済生会病院救急医療等事業補助金	北上済生会病院・市民	北上済生会病院への救急医療事業等に対する補助	北上済生会病院への救急医療事業等に対する補助: 72,396,760円

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	67,323	69,762	70,069	72,397	
人件費	74	826	1,908	154	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	67,397	70,588	71,977	72,551	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	外来患者数	85,214人	85,214人	88,504人	90,954人	
02	入院患者数	71,388人	82,611人	72,096人	75,052人	
04	フルコスト÷患者数	0.43千円	0.42千円	0.45千円	0.44千円	

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

北上済生会病院の小児救急医療は計画通り実施し、利用された。

### 問題点・課題等

特別交付税措置基準が平成29年度以降6割程度に低減され、財源不足に陥っている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

構造的な不採算部門に対する支援であり、地域医療の確保のため必要である。国の財政支援動向にこれ以上の変化がないか注視し、あわせて病院の経営改善計画を精査しつつ、基本的には支援継続を図りたい。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了